

かめいしづか 龜井静香さん

庄原市名誉市民の称号を授与



■プロフィール

龜井 静香 (かめい・しづか)

【写真/本人】

昭和11年11月1日生まれ。川北町出身。89歳。昭和35年東京大学経済学部卒業後、別府化学工業㈱(現:住友精化㈱)、警察庁を経て、昭和54年10月の衆議院議員選挙で初当選。主な経歴は、平成6年運輸大臣、平成8年建設大臣、平成21年内閣府特命担当大臣(金融・郵政改革担当)、平成23年内閣総理大臣補佐官。平成29年9月に政界を引退。現在は㈱ジェイ・エス・エス代表取締役会長。令和元年5月旭日大綬章受章。



▲本市の観光をけん引する「国営備北丘陵公園」



▲本市最大の宿泊・温浴施設「桜花の郷 ラ・フォーレ庄原(旧かんぽの郷庄原)」



▲北の玄関口としてにぎわう「道の駅たかの」

市は、本市出身で、13期38年にわたり衆議院議員を務められた龜井静香さんに、名誉市民の称号を贈ることを決め、12月2日、12月市議会定例会で、名誉市民選定の議案が全会一致で同意されました。

これに伴い、3月21日開催の庄原市制施行20周年記念式典の中で、名誉市民の称号を贈る顕彰を行う予定です。

① 本市の発展に尽力

本市の発展に尽力
② 多大な偉業と功績

龜井さんは、長年にわたる国會議員としてのキャリアを通じて、常に国民重視、地方重視の姿勢を貫き、多岐にわたる分野で功績を挙げられています。本記事では特に顕著な功績として、次の3つをご紹介します。

① 数々の要職を歴任
② 多大な偉業と功績
③ 本市の発展に尽力

本市川北町出身の龜井静香さんは、昭和35年東京大学経済学部を卒業後、別府化學工業㈱(現・住友精化㈱)、警察庁を経て、昭和54年10月の衆議院議員選挙で初当選。以来、13期連続

40万人が訪れる本市の重要な観光資源として、雇用創出にも大きく貢献している、本市に必要な不可欠な施設となっています。

2つ目は、かんぽの郷庄原は平成13年に開業し、年間約

10万人が訪れる本市最大の宿泊・温浴施設であり、現在は市の交流宿泊施設(桜花の郷ラ・

フォーレ庄原)と名前を変え、住民福祉や地域経済などに大きな影響力を持つ基幹的施設であります。

3つ目は、道路交通網の整備です。国道432号の改良や国道183号・314号のバイパス開通など、地域間の交通網を大幅に改善し、平成17年に合併

し、市域が広域となつた本市の交通基盤の礎となっています。

また、中国横断自動車道尾道松江線の開通とともに整備された道の駅たかのは、本市を代表する観光交流拠点に成長してお

り、市の北の玄関口としてにぎわいを見せてています。

これらの事業が成し遂げられたのは、積極的な国への提言や地元調整などに奔走した龜井さんの尽力によるものが大変大きくなっています。

この他にも、広島県立大学(現・県立広島大学)の開学や大規模災害の復旧支援など、功績は各方面にわたっています。

（※）龜井さんは、合併以来、この他の、庄原市名誉市民は、これまで4人が、合併前の旧市・旧町時代に顕彰を受けられており

（※）龜井さんは、合併以来初めての名誉市民顕彰者となります。

（※）新市となり、改めて顕彰しています。

なお、本市の歴代名誉市民の皆さんについては、7ページでご紹介します。

合併後初の名誉市民

庄原市名誉市民は、これまで4人が、合併前の旧市・旧町時代に顕彰を受けられており（※）、龜井さんは、合併以来初めての名誉市民顕彰者となります。

（※）新市となり、改めて顕彰しています。

なお、本市の歴代名誉市民の皆さんについては、7ページでご紹介します。

■歴代の名誉市民（敬称略）



永山 忠則（ながやま ただのり／旧庄原市名誉市民）

明治30年10月14日生まれ（昭和59年6月13日没）

略歴

敷信村長、県議会議員、衆議院議員を経たのち、昭和29年5月旧庄原市初代市長に就任。その後、再び衆議院議員となり、昭和11年2月から通算11期32年間在職された。昭和40年には、自治大臣、国家公安委員長に就任。農村出身議員として、公共の福祉の増進、農村に暮らす人たちの生活向上のための政策推進に尽力された。



西田 修一（にしだ しゅういち／旧庄原市名誉市民）

明治34年6月15日生まれ（昭和53年12月19日没）

略歴

庄原町議、庄原町長を経て昭和26年から広島県議会議員。通算36年間、地方政界で活躍。その間、広島県議会議長、全国都道府県議会議長会会長などの要職に就かれ、地方および地方議会発展に尽力。特に、昭和42年には広島県内陸部開発連絡協議会の設立を提唱され、自ら会長に就任して南厚北薄の県政の是正や、内陸部が抱えている深刻な過疎問題の解消に心血を注がれた。



宮田 武義（みやた たけよし／旧西城町名誉町民）

明治24年12月14日生まれ（平成4年11月10日没）

略歴

西城町油木に誕生、中国上海東亞同文書院に学び、書の道を窮められるとともに、帰国後、東京丸之内に中国料理店「山水樓」を創業。多くの文化人、また政財界人など幅広い交流の中で、愛郷の念ひとしお深く、比婆山伊邪那美命御陵伝説地の顕彰、比婆・道後・帝釈国定公園の指定、県民の森の開発、東京西城会の設立などに尽力された。晩年には愛蔵の貴重な書画多数を西城町に寄贈された。



山口 信夫（やまぐち のぶお／旧総領町名誉町民）

大正13年12月23日生まれ（平成22年9月14日没）

略歴

総領町稻草に誕生。東京商科大学（現一橋大学）を卒業後、旭化成工業株式会社（現旭化成株式会社）に入社され、平成4年4月から同社代表取締役会長に就任。平成13年7月には、日本商工会議所会頭ならびに東京商工会議所会頭に就任され、そのほか、政府、産業経済界の数々の要職に就き、日本の発展に広く貢献された。

式典に関する問い合わせ

総務課総務法制係

0824-1123

（約700席）

庄原市民会館 大ホール

ところ
12時30分 開式
12時 閉式

11時15分

とき
3月21日（土）
10時45分
名譽市民顕彰
オープニングアクト
林英哲さん
太鼓演舞

庄原市制施行20周年
記念式典

市制施行20周年の締めくくりとして、次のとおり記念式典を開催します。

式典は誰でも参加できますので、ぜひ、お越しください。

■感謝と喜びの声

名誉市民の顕彰は、本市の歩みを支え、誇りを築いてこられた功績をたたえるものです。

今回の顕彰にあたり、市内のさまざまな分野で関わりのあった皆さんから、感謝と喜びの声が寄せられました。

佐々木満さん



常に国民生活、地方の声を国政に届けるその政治姿勢は、多くの人の共感を生みました。平成17年の郵政解散選挙では自身の利害得失を顧みず、国民重視、地方重視を貫かれたことは今なお語り継がれています。本市でも数々のご功績ご尽力のおかげで、現在の庄原市の経済、市民生活が成り立っているといつても過言ではありません。改めて深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、今後ますますのご健勝をお祈り申し上げます。

県立広島大学の開学をはじめ、道路整備、施設誘致もさることながら、福祉の増進発展にも多大なご尽力をいただき、庄原市の大きな地域財産として息づいています。このたびの名譽市民の顕彰は市民の誇りであり、私たちの世代はもとより、新たな時代を担う子どもたちに夢と希望を与え、本市の発展・繁栄に大いに寄与されるものと確信しています。名譽市民の顕彰、誠におめでとうございます。

篠堂・大津恵地区は大変な災害に見舞われましたが、当初、激甚災害の指定は難しいと言われ、非常に辛い状況にありました。しかし、そうした地域の切実な声を届けていただき、激甚災害に指定していただいたおかげで、早期に復興することができました。改めて感謝申し上げます。地元から名譽市民が誕生したことは、住民にとって大変大きな喜びであり、郷土の誇りです。

亀井静香後援会 会長
住田鉄也さん



北自治振興区 区長
大迫孝さん



名誉市民とは？

市民または市に縁故の深い人で、市の発展、公共の福祉の増進または広く社会および文化の進展に貢献し、その功績が卓絶で市民から深く尊敬されている人に贈る称号です。